

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

**エントリー学校名：**滋賀県大津市立仰木の里東小学校

**活動名：**働き方改革は、生き方改革  
 ～意識改革で幸福感の充実を～

**解決すべき課題：**①「ぬくもり」をキーワードに全教職員が同じ方向性で業務に当たる環境ができていないが生きかきれていない。・OJT（10年目までの教員で構成される職場内の人材育成）の組織、GTK（管理職、教務部、学年主任で構成される学校対策について検討する会議）の組織がある。・中堅教員層（30歳代）が少なく、若手教員に対する指導をベテラン教員層に頼りがちになっている。  
 ②保護者の教員に対する見方が厳しく、若手教員に十分な役割と責任を持たせにくい状況であるため、個々の課題への対応力が育ちにくい。③教師の多忙化により、明日の授業、目の前の行事に取り組むことで精一杯のため、仕事に対する目的意識を見失いやすい。

**目標・方針：**①ぬくもり（自律的・共同的・思いやり）のある教職員集団の確立に向けての校内研修  
 ②働き方改革で幸福感アップ。業務分析・悶絶業務の見直しで業務効率を高めて学びの時間を生み出す。  
 ③仕事に対する目的意識を明確化し、チームで共有する。

**活動内容：**  
 ①学級担任のほとんどが若手教員であり、これからの人材である。中堅教員にとって若手教員と共に学年を運営していく立場である。それぞれのメンバーで構成される OJT, GTK の組織を活用した研修体制を整える。②演習を通して、働き方改革の成果指標、業務分析、悶絶業務の見直しを行い、業務改善策を検討する。（写真 1.2、グラフ 1）また、働き方改革で幸福感の充実をはかるために、資料から豊かな人生について考える。③なぜ教師になったのか、どんな教師になりたいか、そのためどのような日々を過ごすのかというスタートとゴールと方向性を意識する。目的意識を再確認し、各々の使命感をぬくもりのあるチームで共有することで教職員間の人間関係力を高め、教職員の自己肯定感と児童との関係性の質の向上につなげる。（図 2）

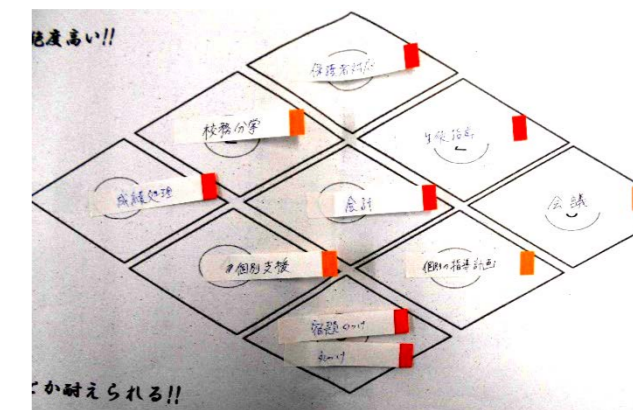
**活動の成果：**①ぬくもり（自律的・共同的・思いやり）のあるチームで取り組むことで、各々の思いを相互承認し支え合うことから、心理的安全性が生まれ、教職員の人間関係力が向上した。②共に考え、学びながら深めていく研修の形だったので、創造的な内容になった。受動的ではなく、各自が自律し、主体的・能動的な意識で日々を過ごすことにつながった。③働き方改革については、各自が実践目標を掲げ、ボトムアップ方式で実践できた。（図 1）④日々見失いがちな仕事の目的について、演習や資料、そして内観を通して意識付けができた。⑤学校教育目標の「ぬくもり」について、個々が感じる「ぬくもり」のイメージを出し合い、個々の明確になった仕事の目的と関連させることで、組織全体が同じ方向を向く重要性を見いだすことができた。

**アピールポイント（アイデアや工夫）：**  
 ・業務改善研修では、中央研修での「タイムマネジメント」で演習したダイヤモンドランキングなどを活用できた。  
 ・仕事の目的意識の明確化では、各自のカードを校長室に掲示し、チーム内の相互承認につながった。  
 ・OJT の研修内容を GTK に発信することで、様々な立場や角度からの意見を共有できた。また、メンター制度を取り入れ、見守り役として 10 年目の教員も加わり、意図的・計画的・継続的に全教職員で OJT メンバーの育成ができた。

写真 1（業務分析シート）



写真 2（悶絶業務ダイヤモンドランキング）



グラフ 1：働き方改革の成果指標

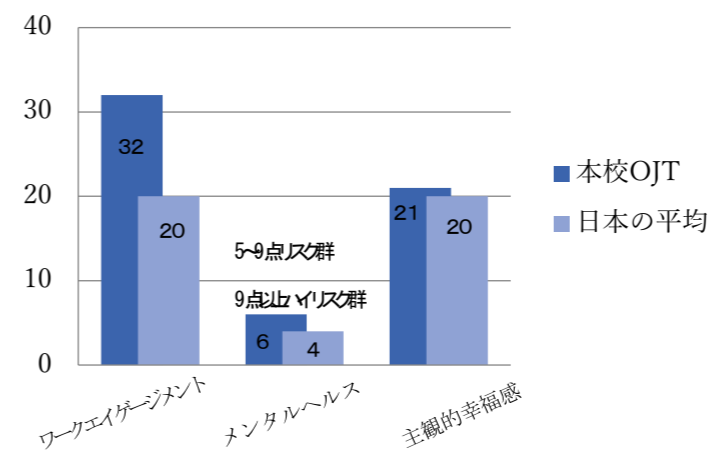


図 1 働き方改革「業務改善策」

- ・時間を決めて、何でも取り組む
- ・やることをリストアップ
- ・負担と思うことを優先して、時間を区切って取り組む
- ・優先順位をつけてテキパキ動く。
- ・期限の設定をする。
- ・子どもとの関係作り、授業作り、色々な先生に積極的に話しかける。
- ・その日のうちにできることをする。
- ・机を整える。片付けの環境を作る。
- ・決断を早くし、行動に移す。

- ・そのことによって保護者対応を減らす。
- ・業務効率を高めて学びの時間を生み出す。

図 2：目標、ゴールの設定と目的意識の明確化

